

八幡の放生会は毎年八月十五日の未明より下院神幸ありて、同日七ツ時還幸し給ふ也。十六日には放生川の汀へ社僧出てもろもろの魚鳥を放ちたまふ。此兩日は遠近より詣人群集す。宿院のほとりには、芝居放下師いろいろの物売出て天地もなく市をなすは、神慮のめぐみなるべし。